

都市再生整備計画 事後評価シート
姫路駅南地区

平成26年3月

兵庫県姫路市

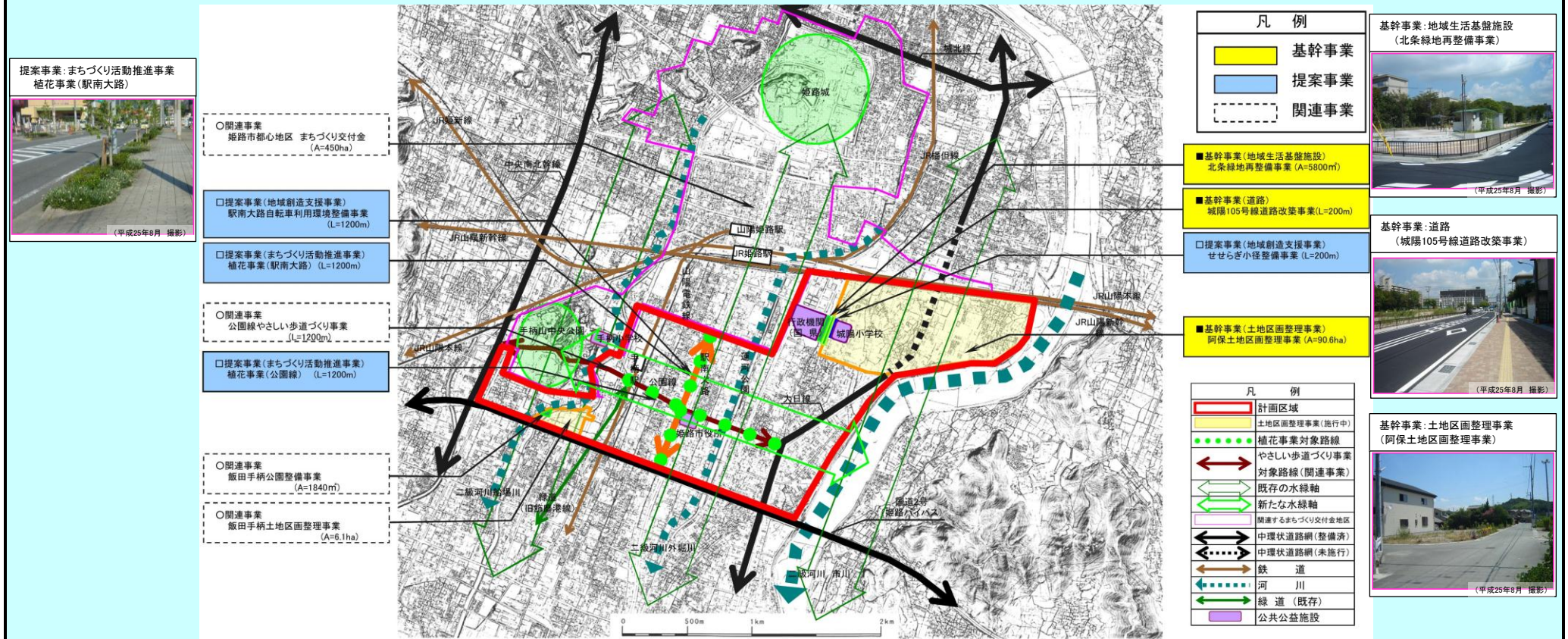
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	姫路市		地区名	姫路駅南地区			面積	360ha	
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年4月～12月		交付対象事業費	2,703	国費率	0.400			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		公園(飯田手柄)、地域生活基盤施設(北条緑地)、土地区画整理事業(阿保土地区画整理事業)							
			提案事業		地域創造支援事業(せせらぎ小径整備事業、駅南大路自転車利用環境整備事業)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動推進事業(植花事業)							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		公園(飯田手柄)	・協議により飯田手柄土地区画整理事業で飯田手柄公園を整備することとなったため、交付対象事業から削除し、関連事業として位置づける。			影響なし			
			提案事業									
	新たに追加した事業		基幹事業		道路(城陽105号線)	・歩行者の安全と地域のより快適かつ安全に安心して生活できる環境を構築するため、区画整理区域と接する交差点改良等を行なう。			影響なし			
			提案事業									
交付期間の変更		当初	変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	建築物棟数	棟	1,087	平成20年度	1,200	平成25年度	1,171	△	あり なし ●	阿保土地区画整理事業、飯田手柄土地区画整理事業の推進により、目標値は達成できていないが、建築棟数が増えた。	H26.6
	指標2	公園等利用者数	人/日	517	平成20年度	1,000	平成25年度	1,195	○	あり なし	北条緑地や、せせらぎ小径を整備し、併せて周辺道路の交通環境が整い、安心して利用できるようになったため、公園等利用者数が増えた。	H26.6
指標3	まち育て活動の参加人数	人/年	9,338	平成20年度	9,500	平成25年度	5,875	×	あり なし ●	公園緑地の整備など事業実施をしたものの、まち育て活動の参加人数の増加には結びつかなかった。	H26.6	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	町別世帯数(阿保地区)	世帯	712	平成20年度			840			阿保地区の世帯数増加を見ることで、目標であるまちづくりを達成できたと考える	H26.6
その他の数値指標2	駅南大路歩道での自転車通行位置遵守率	%	55	平成23年度			73			自転車等放置禁止区域の指定や、自転車通行位置の明示により、遵守率が上がった。		
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	実施なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	せせらぎ小径については地区住民の参加(ワークショップ)により内容を検討し整備計画の決定に至る。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 阿保土地区画整理事業周辺については新規都市再生整備計画を検討しており、公園の整備計画、新駅周辺の植花事業などに住民の参加を予定している。				
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

姫路駅南地区(兵庫県姫路市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
～再生と水緑(魅力)が織りなす、街なか生活空間の形成～ (駅北の商業核との連携) 目標① 街なかに住まい、賑わうまちづくり(賑わいと交流の向上) 目標② 快適に安心してだれもが生活しやすいまちづくり(都市アメニティの向上) 目標③ 愛着を高める水緑(魅力)あふれるまちづくり(愛着と魅力の向上)	建物棟数	単位: 棟	1,087	H20年度	1,200	H25年度	1,171	H25年度
	公園等利用者数	単位: 人/日	517	H20年度	1,000	H25年度	1,195	H25年度
	まち育て活動の参加人数	単位: 人/年	9,338	H20年度	9,500	H25年度	5,875	H25年度
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	(事業後新たなまちの課題、事業実施による発生課題等を記載) ・整備した施設の維持管理に取り組む他、まちの賑わいづくりにも取り組んでいく。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・安全で安心して利用できる公園、緑地を維持するため公園施設、樹木、雑草処理対策等維持管理の継続を行う。 ・JR姫路駅東部に新駅が計画されたことを機に、阿保土地区画整理のまちづくりを更に進めるため、新駅北側とセットで新たな都市再生整備計画を実施する。 ・自転車利用環境整備事業については、周辺幹線道路においても実施していく。 ・植花事業によるまちづくりを継続する。